

乳児期の全身湿疹に対してステロイドを使わず皮膚状態が安定した幼児アトピーの経過 (3歳 女児)

症例 ID：001-03-SA2 | 記録日：2017年8月13日

1. 診断・治療前経過

生後3か月頃に頬へ赤い発疹が出て、膝裏、足首、腕にも赤みと亀裂が広がり、掻きむしるようになりました。小児科でアトピー性皮膚炎と診断され、ステロイドを処方されましたが使用しませんでした。

食事、衣類、洗剤などを調整しましたが症状は続き、周囲から外用を勧められる中で治療を開始しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	ステロイド外用薬を処方されましたが、使用していません。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	使用歴はありません。
中止時期	該当しません。
来院前／後	来院前後とも使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
生後3か月頃	発症	頬に赤い発疹が出て、膝裏、足首、腕へ広がりました。
その後	生活調整	食事、衣類、洗剤などを変更しましたが、皮膚症状は続きました。
乳児期	治療開始	赤色・黄色の外用薬と漢方入浴を開始しました。
治療経過中	緩やかな変化	発疹と掻破が少しずつ減りました。
約6か月後	大きな軽減	発疹はほとんどみられなくなりました。
2～3歳時	経過後	皮膚状態は安定していました。

4. ピーク時期

ピークは、頬、膝裏、足首、腕に赤みと亀裂が広がり、掻きむしっていた治療開始前の時期です。

5. 困りごと

- ・乳児のかゆみと掻破が続きました。
- ・ステロイドを使用しない判断について、家族、医療者、保健師などから批判を受け、母親の心理的負担となりました。

6. 経過のまとめ

治療開始から約6か月後には発疹がほとんどみられなくなりました。

2歳から3歳の記録時点まで、皮膚状態は安定していました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。